

戦争と平和のおはなし会 上中島小学校

平成28年7月19日(火)に、上中島小学校5、6年生を対象として「戦争と平和のおはなし会」を開催しました。

まず最初に、音と視覚から戦争の実相を捉えるため、原子爆弾の悲惨な被害を伝えるDVD「被爆の爪跡」を視聴しました。

次に、図書館の朗読ボランティア「おはなしを楽しむ会」の皆さんが朗読される被爆体験記や原爆詩を静かに聞きました。



原爆詩や被爆体験記は、現代では考えられないとても辛く、悲しい内容で時折、涙ぐむ子も見られました。



おはなしを楽しむ会の方からもんぺや防空ずきんを使い、戦争当時の様子について説明してもらいました。



長崎で被爆した黒焦げの少年の写真を見た妹が名乗りをあげ、70年の時を経て、被爆者の身元が判明した新聞記事についても興味深く聞いていました。

今度は、自分たちの住む富山大空襲の被害について学ぶため、被害にあわれた方の体験記「あの日も猛暑だった」を紙芝居で聞きました。



自分たちの住む富山県でも大変な被害を受けた空襲があったことを知り戦争を身近なことと捉えることができました



被爆地ヒロシマへ現職のアメリカ大統領として初めて訪問されたオバマ大統領の様子についての説明を受け、平和な世界を実現するために自分たちができることを思い描いている様子が見られました。



最後に、参加者全員で原爆詩を朗読してから、原爆や戦争で亡くなられた方のご冥福と世界の平和を祈り黙とうをささげました。



戦争と平和のおはなし会を終えて、子どもたちから感謝の気持ちが伝わりました。また、おはなし会終了後には、会場に設置してある原爆被害のポスターや戦時中の資料を大変興味深く見ていました。

